

## 岩国医療圏地域医療構想調整会議（令和3年度第1回）議事概要

【日時】 令和3年9月30日（木） 14:00 ～ 15:50

【場所】 岩国総合庁舎1階 入札室

【出席者】 出席者名簿のとおり

- 国の動きを踏まえた地域医療構想の進め方や外来機能の明確化・連携に向けた協議の場として調整会議を活用することについて説明し、了承された。
- 第1回病床機能検討部会協議結果の報告を行い、地域医療構想の達成に向けた対応方針の一部修正について、調整会議としての合意を得た。

### 【議事内容】

#### 1 令和3年度地域医療構想調整会議について

県医療政策課から、医療法の改正をはじめとした国の動きを踏まえた地域医療構想の進め方や調整会議の開催方針、医療法上の調整会議の位置づけ等について説明を行った。

また、外来機能の明確化・連携に向けた地域の協議の場として、調整会議を位置付けたい旨の説明を行った。

（主な意見・質問等）

- 県として、第8次医療計画の策定に当たり、岩国圏域ではどのような方向性で進めようとしているのか。
- ⇒ 現在、国において第8次医療計画の策定に向けた検討をしているところであり、県としての方向性を具体的にお示しできないが、第8次医療計画では、新型コロナウイルス感染症対応を踏まえ、「新興感染症等の感染拡大時における医療」が追加されることから、策定に当たっては地域の行政、医療関係者としっかりと議論していきたい。

#### 2 令和元年度病床機能報告の結果について

県医療政策課から、令和元年度病床機能報告結果等について説明を行った。

（主な意見・質問等）

- 岩国圏域は回復期の病床が非常に少ないと指摘されているが、この5年間であまり増えていない。回復期病床を開設する場合、リハビリ専門職の配置基準があり、簡単には転換できない。また、慢性期病床を減らすこと

も難しい。

- 急性期を脱した患者を受け入れる病院も非常に大事である。急性期後の受け皿としての回復期病床の増加に係る協議について、リハビリでなくても回復期の病床機能は発揮できるので、そうした視点からも協議していただきたい。
- 岩国医療センターでは、現在1病棟46床をスタッフ不足等により一時的に休棟しているが、今後、再稼働しようとするときは、調整会議でその必要性について十分議論する必要がある。
- 救急車の受入件数について、岩国医療センターのみで圏域の約80%を占め、他圏域と比較して偏っているため、高度急性期や急性期の病床削減に当たっては、救急の受入に支障がないよう、また、岩国医療センターの医師数が決して多くはないことを踏まえて検討する必要がある。

### 3 令和3年度基金事業について

県医療政策課から、地域医療構想の実現に向けた地域医療介護総合確保基金を財源とする病床機能再編支援事業及び医療機能分化連携推進事業による支援について説明を行った。

(主な意見・質問等)

- 病床機能再編支援事業では、対象の1つとして急性期病床の削減があるが、新型コロナウイルス感染症への柔軟な対応も必要であり、質を担保しながら病床を整理することを考えなければならない。

### 4 令和3年度第1回病床機能検討部会の協議結果について

事務局から、周防病院における一部病床の介護医療院への転換に係る「医療機関2025プラン」の修正点等について、調整会議としての合意を得た。

また、岩国市から、「玖北地域の医療提供体制」について、令和2年度に検討した結果の報告を行った。

(主な意見・質問等)

- 岩国市立美和病院の改築について、進捗状況を教えてもらいたい。  
⇒ 今年末に造成工事に着手し、来年度から建物の建築工事を行い、令和6年9～10月頃の開院を目指して取り組んでいる。